

水稻極早生奨励品種 キヌヒカリ 栽培暦 (中山間地 5月中下旬植用)

大阪府環境農林水産総合研究所

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	
生育ステージ	は出緑			硬	田活		分			最幼			穂	出穂	穂	登	成						
	種芽化			化	植着		げ			高穂			ば	穂	揃	熟	熟						
水管理	期期期			期	期期		つ			期			み			期	期						
				育	苗	活	着	有効分げつ			無効分げつ			幼穂形成・穂ばら			登			熟			
施肥	土壌改良資材			基肥						穂肥			穂肥						土づくり				
除草剤						初中期一発剤			後期剤 Z														
病虫害防除				箱施用		葉いもち			穂ニウコ			カヨウ			ウ								
									いカンブ			メコン			ン								
									もメカノ			ムバカ			カ								
									ちイ			シイ											
									チ														
									ユ														
									ウ														

「キヌヒカリ」は短稈で耐倒伏性に優れるが、食味を低下させず病虫害の発生を抑えるために基肥窒素は10aあたり4～5kg以内とする。穂肥は10aあたり窒素3～4kg以内とし、出穂21日前～10日前にできれば2回に分けて施用する。基肥と穂肥トータルで10aあたり窒素7～9kg以内とする。いもち病耐性は「中」で強いわけではないので特に中山間では箱施用剤および本田防除を励行すること。また紋枯病にも弱いので過繁茂、窒素過剰に注意。祭り晴」と違って籾の休眠は浅いので発芽が早く、苗の伸びも早いので育苗時の高温による徒長苗に注意する。出芽器から出すのは祭り晴より1日早めに。刈り遅れのないように適期収穫すること。(穂の籾のうち根元の2割程度がまだ帯緑した時期が適期。出穂からおおむね35～40日くらい。刈り遅れると穂発芽しやすいので注意。)